

京の年中行事

8月

先祖を供養し、 町内の安全をお願いする

春と秋のお彼岸など、一年の折々にご先祖様を供養する伝統行事が行われます。なかでも8月にあるのが、ご先祖の霊である「お精霊さん」をお迎えする盂蘭盆。京都では、六道まいるの鐘をついてお精霊さんを迎え、送り火をたいて送ります。五山の送り火はその代表です。

また、京都の町では、お地蔵様をまつる祠が至る所で見かけられます。このお地蔵様を供養しつつ、町内と子どもたちの安全を祈願するのが地蔵盆です。こうした民族行事は、町内の人々の交流の場としても大いに役立っています。



五山の送り火

お精霊さんのお膳

お盆の間は、毎日お団子やお膳をお供えしてご先祖様をもてなします。京都では、まずは12日にお団子でお出迎え。13日から15日までは、精進料理をご先祖様にお供えするとともに家族の夕餉としました。また午後3時には、「けんずい」と呼ばれるおやつもお供えします。宗派や家々によって違いはありますが、ご先祖様への思いが込められています。御自宅でも大切なご先祖を思ってお供えをしてみませんか



お精霊さんのお膳

ゆうげ

地蔵盆

世代を越えて地域の人々をつなぐ京都の伝統行事、それが地蔵盆です。地蔵菩薩の縁日である8月24日頃、京都をはじめ、関西地方を中心に広く行われています。お地蔵さんを祀った会場では、数珠まわしやお菓子配り、ゲーム大会などが開催されて、町のあちこちから



数珠まわし

子どもたちの歓声が聞こえてきます。今年は近所で行われている地蔵盆に参加してみたいかどうか？

京都をつなぐ無形文化遺産とは

京都には、時代とともに変容しながら、世代を越えて暮らしの中で伝えられてきた数多くの無形文化遺産があります。それらの価値を再発見・再認識し、内外にその魅力を発信するとともに、次の世代へ大切に引き継いでいこうという市民的気運を盛り上げるため、平成25年4月、京都市独自の仕組み“京都をつなぐ無形文化遺産”制度を創設し、平成30年3月には「京の年中行事」を選定しました。

西京区役所洛西支所と文化市民局では、この「京の年中行事」を区民の皆様に広く知っていただくためのパネル展示を行ってまいります。

